



Japan International
Association of
Lighting Designers

2019

IALD
JAPAN

ANNUAL
REPORT

Vol.05

一般社団法人
日本国際照明デザイナーズ協会
アニュアルレポート



Japan International
Association of
Lighting Designers

2019

IALD JAPAN

ANNUAL REPORT

Vol.05

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
アニュアルレポート
第5期 [2018年9月—2019年8月]

CHAPTER 01	1-1	代表理事挨拶	04
協会挨拶	1-2	協会設立の目的	04
CHAPTER 02	2-1	総会	06
活動報告	2-2	イベント 第2・3回 照明トレンド オンステージ	07
	2-3	のぞいてみよう!照明デザイン	08
	2-4	コミュニケーションバー InaBar	09
	2-5	Enlighten Asia in Japan 2019	10
CHAPTER 03	3-1	委員会の概要と設置の目的	22
組織運営	3-2	IALD Japan メンバーリスト	23
	3-3	IALD Japan News	26
	3-4	About IALD Japan	27
	3-5	世界のIALDメンバー	28
	3-6	入会案内	30
	3-7	第6期に向けて	31
	3-8	協賛企業	32

CHAPTER

01

協会挨拶

1-1	代表理事挨拶	04
1-2	協会設立の目的	04

1-1 代表理事挨拶

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会は2014年9月に発足以来5年を経過いたしました。照明デザインに関わる情報発信や職能の質的向上、後進の育成や関連諸団体との連携を通じて、広く照明文化や業界に貢献することを目指して活動しています。この5年の間に、私たちは日本照明工業会、日本経済新聞社と連携し業界最大のイベントであるLIGHTING FAIR+Enlighten Asia in Japanを3回開催しました。2019年はすみだ水族館を貸し切ったユニークなフェアウェルパーティーを主催し、海外からのお客様を含めて多くの参加者が集い業界交流を行いました。

更に積極的な情報交流を行うために協会のHPを刷新し、会員の拡充では新規の学生会員や教育者会員も加えて連携の輪を広げてきました。今後は教育ファンド (Education Trust) との連携も含め、学生、教育者、若手照明デザイナーなどの育成に力を注いでいきたいと考えています。

来年2020年は待望の世界の祭典東京オリンピック・パラリンピックを迎えます。その為に私たち日本人は多くの努力を払い準備を重ねてきました。この努力をスポーツのみならず日本の文化を世界に伝える意味でも果たせねばなりません。しかしその半面で、照明デザインと業界を取り巻く社会や経済の状況は混沌として参りました。国家や民族意識の高揚、地球環境の破壊、更にはIT時代がもたらす新たなコミュニケーションなど。解決すべき新時代の課題は山積みにされています。照明デザインの社会的な役割や期待のされ方も、この先には刻々と変化していくことでしょう。

その様な情勢の中で、私たちは未来に向けた健全な議論の場を作っていきたいと考えています。照明デザインという職能を高めるためのプロモーションと共に自己研鑽に励みます。照明学会や日本照明工業会をはじめとする関連諸団体とも連携しながら、広く照明業界を繋ぐための場づくりにも努めたいと考えています。

皆様の益々のご指導とご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会

代表理事 面出 薫 Kaoru Mende



1-2 協会設立の目的

本協会は、日本並びに国際社会とのコミュニケーションを促進し、照明デザイナーの地位の向上を図り、光のデザインを通じて社会と文化の発展に寄与することを目的とします。

設立の目的を達成するために、次の事業を推進します。

1. 照明デザインの理念・役割・技術の研究と情報発信
2. 照明デザイナーの質的向上と育成のための研究・教育・広報事業
3. 照明に関係する機関・学会・団体等との連携および協力
4. 海外関係機関・団体等との交流および協力
5. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

CHAPTER

02

活動報告

2-1	総会	06
2-2	イベント 第2・3回 照明トレンド オンステージ	07
2-3	のぞいてみよう!照明デザイン	08
2-4	コミュニケーションバー InaBar	09
2-5	Enlighten Asia in Japan 2019	10

2-1 総会

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 (IALD Japan) では、第5期に全3回の総会を開催し、各総会では以下の案件が決議・検討されました。

〈定時総会〉

- ・ 監事改選：第5期～第6期の監事2名を選任
- ・ 第4期決算報告と承認
- ・ 第5期事業計画及び予算案の報告と承認
- ・ Enlighten Asia in Japan 2019進捗報告

〈第1回臨時総会〉

- ・ Enlighten Asia in Japan 2019各イベント概要説明と質疑応答
- ・ 各委員会報告
- ・ 照明トレンド オンステージ開催報告

〈第2回臨時総会〉

- ・ 学生向けセミナー概要説明
- ・ Enlighten Asia in Japan 2019開催報告と次回の展望

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
第5期総会スケジュール

2018年10月12日 第5期定時総会	場所：東京デザインセンター 8階会議室
2019年1月18日 第5期第1回臨時総会	場所：東京デザインセンター 8階会議室
2019年6月7日 第5期第2回臨時総会	場所：東京デザインセンター 8階会議室



第5期定時総会



第5期第1回臨時総会



第5期第2回臨時総会



2-2 Event [イベント]

第2・3回 照明トレンド オンステージ

選定委員会によって選ばれた照明器具について、照明メーカーの開発担当者から10分間のプレゼンテーションを受け、それに対して照明デザイナーが忌憚のない意見や質問で迎え撃つことで、その製品の特長を浮き彫りにしてゆく60分間。IALD Japan 単独の企画ではなく、日本/東京インテリアプランナー協会、日本商環境デザイン協会、東京デザインセンターとの共催で行われました。会員以外にも興味を持っていただけるイベントです。

第2回は「イロモノ照明」で、それぞれ特徴ある4社が集まり、熱のこもったプレゼンが繰り広げられ、「イロモノは黄色でチェック」という基準ができるほど、鋭い質問が飛び交っていました。

第3回は「令和時代の細長照明」。様々な空間で、建築化照明として使用されることが増えてきた細くて長いライン照明は、色々な意味でメリットが多く、照明デザイナーにとってもとても魅力的な照明です。市場でもその細さと長さで競い合う、業界をリードする3社によるプレゼンテーションが行われました。

照明器具の情報は、作り手側から使う側への一方通行でしたが、このようなイベントを通して積極的なフィードバックを行い、照明デザイナーが使いたい照明器具の開発を呼びかける場として、今後もその期待に応えていきます。

第2回 照明トレンド オンステージ

日時 2018年11月17日
 プレゼンテーション ウシオライティング、カラーキネクティス・ジャパン、
 パナソニック エコソリューションズ社、
 マーチンプロフェッショナルジャパン

第3回 照明トレンド オンステージ

日時 2019年6月7日
 プレゼンテーション 遠藤照明、DNライティング、エイテックス

会場 東京デザインセンター5階crafTecギャラリー
 主催 IALD Japan
 共催 日本インテリアプランナー協会
 東京インテリアプランナー協会
 日本商環境デザイン協会
 東京デザインセンター



2-3 Event [イベント]

のぞいてみよう!照明デザイン

2019年6月28日、東京デザインセンター 5階のcrafTecギャラリーで、照明デザインショーケース「のぞいてみよう!照明デザイン」が行われました。照明デザインとは?照明デザイナーは何をしているの?といった学生が知りたいことを、現役の照明デザイナーが事例を交えながらプレゼンテーションを行うイベントで、たくさんの学生が参加してくださり、会場は熱気であふれていました。

最初に登壇したのは、ALG（建築照明計画株式会社）の小西美穂さん。「必要なところに必要な光を」という自社のフィロソフィーや事例を交えながら、照明デザイナーとはどういう仕事なのかを紹介。感性を磨くことや実際に体験すること、一步を踏み出してチャンスをつかむことの大切さなどを、学生にアドバイスしました。

次に登壇した、有限会社サワダイティングデザイン&アナリシスの入社6年目の横川貴明さんは、参加している学生に比較的年齢が近いこともあり、自身が照明デザインに興味を持ったキッカケや携わったプロジェクトの話がされました。

最後の登壇者は、大阪から駆けつけてくれた37年の経験を持つ大ベテラン、有限会社スタイルマテックの松本浩作さん。照明デザインをプロダクトの視点から紹介。その場に適した光をつくる多種多様なデザインを考え、提案できる楽しさがあることを話されました。

また、学生の頃から照明デザインをしてみたいと思い、数年前に同じような経験をして、現在、照明デザイン事務所に所属されている若手の二人を招いて、実際に仕事をして感じて、照明デザイナーになるために大学時代にしていたことなどを話していただきました。

イベントが終わった後に同会場で行われた懇親会では、学生たちから多くの質問が出て、照明デザイナーのことをもっと知りたいという思いがひしひしと伝わってきました。

日時	2019年6月28日
会場	東京デザインセンター5階crafTecギャラリー
プレゼンテーション	ALG（建築照明計画）、 サワダイティングデザイン&アナリシス、 スタイルマテック
主催	IALD Japan
共催	東京デザインセンター



2-4 Event [イベント]

コミュニケーションバー InaBar

「InaBar」はIALD Japan事務所のバーコーナーで行われるユニークな「トーク＆バー」。話題提供者が店主である稲葉裕さんより適宜指名され、毎月第一火曜日にハイクラスな照明の話題とハイクラスなワインを楽しんでいただけます。条件はマイグラスの持参。ソフトドリンクも多種ご用意しておりますので、ワインを飲めない方も是非ご来店ください。

第7回：台風のため中止

第8回：10月2日 「AKI」 早川亜紀さん

東日本大震災後の計画停電時の早川家の照明(懐中電灯)配置図を披露いただいたり、現場での照明は正のために苦労された話などで盛り上がりました。

第9回：11月6日 「彼女と。」 内木宏志さん

7月に国立新美術館で開催されたHERMÈSの観客参加型展覧会をディレクションした際の、ここでしか聞けない報告を詳細に聞くことができました。

第10回：1月8日 「情熱のスペイン」 東悟子さん・瀧ゆう子さん

スペインで開催されたEnlighten Europeの報告をしていただきました。コミュニケーションスキルの講義の話、パーティーの話など、3月に日本で開催されたEnlighten Asiaの参考となる話題が満載でした。

第11回：2月5日 「愛の照明デザイン」 武石正宣さん

Lighting・Organize・Value engineer・Environmentといったワードで、携わったプロジェクトを紹介していただきました。

第12回：4月2日 「インスタレーションアートと照明デザイン」 岡安泉さん

画像を交えて「照明デザインは…」と多くの言葉が飛び交いました。特に若い会員の皆さまに聞いていただきたくなるような話が満載の回でした。

第13回：5月7日 「1/fゆらぎ」 森秀人さん

ライティングMが手掛けた「1/fゆらぎ」プロジェクトの画像を見ながら、「ゼンゼン似たことない」「照明はテクニックに頼ったらダメ」などの森語録が飛び出しました。

第14回：6月4日 「デザインビジネスの秘伝！」 面出薫さん

他の回とは異なり、今回は美しい写真は一切なし。面出さんの手書きメモ、マル秘のエクセル表…。来店者は興味津々で話を伺い、質問も多々…。店内は盛り上がりました。

第15回：7月2日 「現場80%，設計20%」 原田武敏さん

数多く手がけてこられた期間限定の庭園ライトアップでは、机上での作業は20%程度、80%は現場で試行錯誤しながら完成させるという原田さんの拘りを、美しい画像と共に解説していただきました。

第16回：8月6日 「美術館照明の新しいガイドライン」 吉澤望さん

照明学会より近々出版予定の美術館・博物館の新しいガイドラインに関わっている吉澤さん。照明器具を美術館に持ち込んで評価会を行ったときの話。照明学会ならではの裏話も…。

今後も、会員の皆様のコミュニケーションの場としてご来店をお待ちしています。

日時	毎月第一火曜日(GWは除く)
場所	IALD Japan バーコーナー
参加人数	IALD Japan バーコーナーに入れるだけ (MAX20名)
主催	IALD Japan



ENLIGHTEN AS

2-5 Enlighten Asia in Japan 2019 Diversity of Light

今春、一般社団法人 日本照明工業会、日本経済新聞社主催のライティング・フェア 2019と同時開催された『Enlighten Asia in Japan 2019』。4回目の開催となった今回、海外の著名照明デザイナーを迎えた2つの基調講演をはじめ、北米のIALD本部と協力して募集した海外公募スピーカー、国内スピーカーによる今話題のSDGsと照明の関係や人にやさしい照明空間、地方創生など、“Diversity of Light”をテーマにした選りすぐりの18のセミナーが実施されました。その他、照明デザイナーの視点で展示会場の見どころをご案内する「コレカライト探検ツアー」や照明デザイナーとともに東京の夜景を巡る「会場外ツアー」、「コレカライトステージ」や「スタジオミニセミナー」など様々なイベントを、ライティング・フェア企画委員会とともに当協会が企画構成を担当しました。また、最終日には海外からのゲストを交えて、毎回感動的な企画・趣向で盛り上がる「Enlighten Asia in Japan フェアウェルパーティー」を開催。今回は会場をすみだ水族館に移し、幻想的な光と水の世界で有終の美を飾りました。



開催日程：2019年 3月6日・7日
開催場所：東京ビッグサイト 会議棟1階 101・102会議室



TEN IN JAPAN IA 2019

エンライテン・アジア・イン・ジャパン 2019

コレカライト Post-2020 — あしたが変わる、あかりが変わる。

LIGHTING FAIR 2019

第14回 国際照明総合展



EL01

魔法が起こる場所—
自然光と人工光の融合

アンドレアス・シュルツ氏(リヒトクストリヒト CEO)
Moderator : 面出 薫氏(ライティングプランナーズ アソシエーツ 代表)

シュルツ氏は、自らがCEOを務める照明デザイン事務所リヒトクストリヒトが手掛け受賞したデザインの中から、人工と自然の照明を巧みに融合させることにより、ユニークでインスピレーションを刺激し、詩的で美的に優れた体験を生み出すことに成功した例を選びすぐり紹介しました。空間と光の間にある相互関係は、特別な空間を生み出します。何世紀もの間、空間を照らすには日光を利用する以外にありませんでした。しかし、人工照明が登場し、照明技術の近年の急速な発展により、人工光と自然光による相互作用は、建築空間に変容をもたらすという特異な可能性を示してきたと言います。最後に、日本の照明デザインについて聞かれたシュルツ氏は、設計・施工に関して高い水準を保っており、質に重きを置く日本人の照明デザインへのこだわりについても、満足していると話しました。

EL02

デジタル時代の中国の照明デザイン



許 東亮氏(トリーローインターナショナルライティングデザインセンター ジェネラルマネージャー)
Moderator : 面出 薫氏(ライティングプランナーズ アソシエーツ 代表)

建築から街づくり、都市全般から見えてくる、急速に発展する中国の照明デザインの実情を、事例の紹介をまじえながら、許東亮氏に語っていただきました。京都の寺の枯山水のスライドを見せながら、枯山水は僧侶のその日の気分を表現する「メッセージ」であり、同様に中国での照明デザインプロジェクトもまた、許氏にとっては人と街への「メッセージ」だと言います。彼の照明デザインは照明設計、光のアートワーク創作、光のデジタルデザインの三分野に分かれており、きまじめに照明設計をやる傍ら、都市でのパフォーマンス、メディアファサードと言われる大規模な映像演出にも挑戦しています。モデレーター的面出氏は、許氏の個人やビルオーナーの利害を超える圧倒的な力を持つメディアファサードデザインに関して、許氏の作品というよりは「中国の社会・経済体が作り出した都市の風景」ではないかと結びました。

EL03

IALDインド光のワークショップ：
リーダーシップ開発と研修のモデル

アマディーブ・M・デューガー氏
(ライティングリサーチ&デザイン 創設者&プリンシパル)

インドにおけるIALDの組織拡大の責任者として、照明デザイン業界のリーダーシップと研修のモデルを開発、実行したアマディーブ・M・デューガー氏。発展途上のマーケットでいかにして照明デザインを組織的に普及させるかを、自身の体験をもとに話しました。デューガー氏によれば、インドは世界で2番目に人口の多い国にも関わらず、当時照明デザイナーと呼べる人はインド全土で40人程度しかおらず、リーダー育成に取り組む必要があったと言います。そこで推進した活動が、学生をターゲットにしたワークショップでした。学生以外にも電気工事関係者やプログラムの運営者など総勢1,500人余りの人たちを巻き込み、何よりもこれらの活動を通して多くの関係者が、意思決定、コミュニケーション、移譲などのプロセスを体験し、照明デザインを普及するためのリーダーシップを体得できたことが最大の効果だったと、デューガー氏は言います。

EL04

本当にカラダにいい照明とは～ 「健康と照明」常識のウソ・ホント



大林 賢史氏 (奈良県立医科大学 准教授)
Moderator : 菅原 千稲氏 (フィラメント 代表)

照明が身体に及ぼす影響は昔から研究されていますが、その研究結果は今でも有効なのか。またLEDが光源の中心となる時代になって、新たに考えなければならない健康に関する事柄は何かなど、健康と照明に関する最新情報を、光と健康に関する研究をしている大林賢史氏の解説で紹介されました。夜がどんどん明るくなっていく現在、ライトポリューションという「光害」問題があり、医学的な立場から言えるのは、昼間はたくさん光を浴びて、夜は浴びないこと。人はこの光環境に適応するような生体リズムの大本、24.2時間のリズムを刻むサーカディアン(概日リズム)タイミングシステムを持っているので、いかに夜の光が目に入らないようにするとか、昼の光はたくさん入るようにするとか、そういう技術的な側面も考慮して照明をデザインすると、健康に寄するような可能性があるのではないかと大林氏は結びました。

EL05

ビルディング・インフォメーション・モデリング (BIM) — 照明の計算・文書化ツール



ファラ・デバ氏 (スティーセン・ヴァミング ライティングデザイナー)
クリス・ロック氏 (JHAエンジニアーズ デジタルインフォメーションデザイナー)

デザインを常に最新の状態に保つことを可能にし、照明の計算と文書化を同時に済ませることで、文書化に要する時間を劇的に削減できるツール、ビルディング・インフォメーション・モデリング(BIM)を利用した照明デザインの一例として、ブルーマウンテンズという自然豊かな地域に計画された住宅プロジェクトが紹介されました。この住宅の特徴は、雄大な自然を望む眺望と、木、石、コンクリートなどの素材へのこだわりです。このような特徴を、照明デザインの観点からいかに効果的に演出するかという課題に対する解決策を導き出す過程で、BIMソフトが活用されました。照明解析やモデリング、見積り、法規チェックを自動で行うので、照明デザイナーはより本質的なデザインの検証に集中できるようになり、プロジェクトの最大の魅力である眺望と素材本来のよさを、最大限に引き出すことに成功しました。

EL06

SDGsと照明：2030年にわれわれが 実現すべき社会と光の役割



田瀬 和夫氏 (SDGパートナーズ CEO)
Moderator : 小西 美穂氏 (ALG (建築照明計画) ディレクター)

国連の持続的開発目標(SDGs)の分野で、日本のトップランナーである田瀬和夫氏と、IALD Japanの理事で、照明デザイナーの小西美穂氏が、SDGsをベースにした照明の向かう方向性についてパネルディスカッションしました。SDGsは、2030年に私たちが次の世代に引き継ぎたい社会を明確にした文書で、今、世界中の経営者やトップリーダーがSDGsをベースに、ビジネスを再構成しようとしていると田瀬氏は言います。パネルを受け取った小西氏は、住宅のように個人レベルで光のコントロールが可能になってきた中で、一人ひとりがどのように光と向き合うのかというところを、照明デザイナーとして啓蒙していかなければならないと言います。最後に、田瀬氏は、2030年にはどのような光を、あるいはコントロール、選択肢を次の世代に提供するかとするのは、とても重要な仕事になるかもしれないと結びました。



2-5 Enlighten Asia in Japan 2019

コレカライトスタジオ & コレカライト探検ツアー

西2ホールの一画に設営された「コレカライトスタジオ」では、照明にまつわるエトセトラやコレカラのあかりについて、IALD Japanに所属する照明デザイナーや各分野の専門家によるライブトークが繰り広げられ、大いに盛り上がりました。また、照明デザイナーがナビゲーターとなりLIGHTING FAIRの会場をめぐる「コレカライト探検ツアー」では、新しい技術や商品の特長などを照明デザイナーの視点で解説。参加者は、巧妙な語り引き込まれ、時間を忘れてツアーを楽しんでいました。

コレカライトスタジオミニセミナー 会場：東京ビッグサイト 西2ホール

「新たなナイトライフの魅力をつくるナイトミュージアムの試み」

3月6日 吉澤 菜摘 氏(国立新美術館 学芸課 教育普及室 主任研究員)

米山 勇 氏(東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館研究員・江戸東京たてもの園研究員)

岩井 達弥 氏(岩井達弥光景デザイン 代表)

「夜景撮影のテクニック」

3月6日 岡本 賢 氏(Ripple design 代表)

「ドローン×照明×無限大∞」

3月7日 中谷 太郎 氏(*CYPHER 代表)

藤田 淳一 氏(コイト電工 営業本部販売推進部 担当部長)

コレカライト探検ツアー 会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール

3月5日 菅原 千稲 氏(フィラメント 代表)

垂水 茂喜 氏(レイデザイン 代表取締役)

3月6日 野澤 寿江 氏(近田玲子デザイン事務所 副代表)

加賀美 鋭 氏(GK設計 チーフデザイナー)

窪田 麻里 氏(ライティングプランナーズアソシエーツ 取締役シニアアソシエート)

永島 和弘 氏(チップス 代表)

3月7日 松下 美紀 氏(松下美紀照明設計事務所 代表取締役)

馬渡 秀公 氏(マワタリデザイン 代表)

田中 裕美子 氏(ゾネ 代表)

岡本 賢 氏(Ripple design 代表)

3月8日 長町 志穂 氏(LEM空間工房 代表取締役)

原田 武敏 氏(焰光景デザイン 代表)

小西 美穂 氏(ALG(建築照明計画) ディレクター)

永津 努 氏(フェノメノンライティングデザインオフィス 代表取締役)

会場 東京ビッグサイト 西ホールアトリウム、西1・2ホール
主催 一般社団法人 日本照明工業会、日本経済新聞社
企画構成 ライティング・フェア2019企画委員会(アイリスオーヤマ、
岩崎電気、NECライティング、遠藤照明、オーデリック、
コイズミ照明、コイト電工、スタンレー電気、星和電機、
DNライティング、東芝ライテック、パナソニック、
日立アプライアンス、プリンス電機、三菱電機照明)
IALD Japan

EL07

照明デザイン業界をゼロから育てる方法：
トルコの実例から

エムル・ギュネス氏
(PLDトルコマガジン 編集局長)

エムル・ギュネス氏は、2005年にトルコ初の照明デザインに特化した雑誌「Professional Lighting Design」を立ち上げ、その編集局長を14年間務めてきただけでなく、イノベティブなテクノロジーを紹介する団体の共同設立者、さらに照明器具メーカーのトルコにおける事業開発リーダーなど、その活動領域は多岐に渡ります。様々な活動をしていく中で、イスタンブールでも照明デザインに特化した事務所が設立され始め、それに目をつけたギュネス氏は、トルコの有名大学(6～7校)をデザイン事務所のデザイナーと一緒にまわり、大学生と交流するツアーを企画・実行。ツアーに参加した多くの学生が照明デザインに興味を持ち、照明デザイナーを目指すようになったと言います。今後の目標としては、小学生を中心に照明デザインを紹介し、自身がゼロから始めた照明デザインの普及・啓発活動を次世代に繋げていきたいと結びました。

EL08

輝度設計と照明デザインの未来



吉澤 望氏(東京理科大学 教授)、岩井 達弥氏(岩井達弥光景デザイン 代表)
Moderator: 富田 泰行氏(トミタライティングデザイン・オフィス 代表)

富田泰行氏のナビゲートで、吉澤望氏と岩井達弥氏とともに、照明シミュレーションの照明デザインへの活用について掘り下げて行きました。岩井氏は、DIALuxなどのソフトが手軽に扱えるようになった今、次の課題は数値化、視覚化されたシミュレーション結果を「人の感覚」につなげていくことだと言います。さらに、人がヘッドマウントディスプレイなどで実体験できる方法を確立させてほしいという研究者への要望がありました。それに対し吉澤氏は、それにはまず「明るさ感」を評価する指標が必要だが、多方面で研究が進む「照度設計から輝度設計への転換」が大きなヒントになる。照度ではできなかったが、輝度になると視覚的にどう見えるかまで説明がつけられるはずなので、そこまでの参考となる評価軸と表現方法を、今後出していくことができると答え、このセッションを締め括りました。

EL09

照明のマーケティング



バーバラ・ホートン氏(HLBライティングデザイン シニアプリンシパル)
キャリー・ハウリー氏(HLBライティングデザインボストンオフィス シニアプリンシパル)

全米に7つのオフィスを構える米国の大手照明デザイン事務所HLBのマーケティング担当のプリンシパルのバーバラ・ホートン氏とキャリー・ハウリー氏が、照明デザイン事務所のためのマーケティングを紹介しました。HLBのマーケティングは、3つのキーワードにまとめられると言います。1つ目は、ブランドやウェブ、名刺、パンフレット、SNS等が含まれる「Enlighten」。2つ目は、計画・戦略・実行の3段階で行われる「Engage」。3つ目は、業界団体やその他の様々なコミュニティに参加し、人的ネットワークを広げていく「Educate」。この「Educate」において重要なのは、キャリアや役職は関係なく、平社員から役員まであらゆるレベルでの人的交流で、いくつもの階層で接点を作り、ネットワークを構築していくことだと言います。そして、「マーケティングには、始まりがあって、途中があるが、決して終わることのないものだ」という認識の重要性が指摘されました。

EL10 建築と光環境を繋ぐデジタルデザイン



花岡 郁哉氏(竹中工務店 東京本店設計部副部長)
Moderator: 戸恒 浩人氏(シリウスライティングオフィス 代表)

コンピューター技術が進化し、設計技術も年々新しくなっている今、デジタルデザインによって建築空間と光環境の情報を同時に扱うことによる可能性を花岡郁哉氏と探りました。最近では、Virtual Reality (仮想現実)やMixed Reality (拡張現実)の活用が進んでおり、VRでは、光環境のシミュレーションを建築のBIMモデルを活用しながら簡単に行えるソフトなども出てきていると言います。MRでは、ヘッドマウントディスプレイというサングラスのようなところに映像が表現され、現実の空間を見ながら設計情報を重ね合わせることが可能です。花岡氏は、バーチャルで体験できるものと、リアルな空間で体験できるものとの差はまだあると感じていると言います。ただ、補助ツールとしては非常に有効で、光環境デザインのクオリティを上げていく方法にはなると考えていると結びました。

EL11 コラボレーティブデザイン：
多文化環境における照明デザインの
ベストプラクティスの限界と機会

ヘレナ・ジェンティーリ氏
(アイボリーエッジディレクター)

イタリア、ベルギー、スイスで働いた経験を持ち、そして現在、インドで働くヘレナ・ジェンティーリ氏の視点で、各国の文化的背景を考慮することの重要性を考察しました。多文化環境、さらには照明デザインの分野において、コラボレーションは単なる「一緒に働く」という意味に加え、「目的を共有する」、「モチベーションを高める」、「妥協する」などのより高いレベルでのコラボレーションが求められます。その理由の一つに、文化的な背景があると考えます。ジェンティーリ氏がインドで照明デザインを手掛け、多分野、多文化環境での共同作業となったHMG Stone Galleryのプロジェクトでの教訓は、特に発展途上国においては、品質管理などに関する「限界を許容する」ことが必要だということ。それが、本来「一緒に働く」という意味でしかなかったコラボレーションという作業の多文化環境における側面であることを教えてください。

EL12 責任ある照明：
照明デザインが持つ影響力と新たな倫理

マーク・ロフラー氏
(マーク・ロフラーデザインコンサルティングLLC 代表)

IALDの「持続可能なデザイン」委員会で主導的な役割を担う、米国の照明デザイナー、マーク・ロフラー氏。環境への配慮に対する意識の高まりに伴い、2000年代にはLEEDという建築・設備の環境性能評価システムが導入される中で、ロフラー氏はIALDの行動規範に立ち返って、本当に「良い照明デザイン」とは何なのかを見つめ直す必要があると言います。さらに、照明システムがIoTに組み込まれていくことに対しても、ロフラー氏は警鐘を鳴らします。IoTに組み込まれた照明システムが自動的に人間の行動を予測し、自然光の活用などを自動制御で行ってくれるのは素晴らしいことだが、他方で、IoTがあまりにも生活の中に入りすぎて監視ツールとしても利用されかねないことから、IoTの普及によるプライバシーの侵害という側面に対して、照明デザイナーはどう対応すべきか考える必要があるとロフラー氏は言います。

EL13

大規模都市における夜景管理のための
3レベルシステム
ケーススタディ：テヘラン

エルハーン・スーリ氏(シャヒードBeheshti大学 シニアアーバンライティング研究員)
ケイヴェ・アーマディアン氏(ノーサフォームライティングエンジニア マネージングディレクター)

アーバンデザイナーのエルハーン・スーリ氏と照明デザイナーのケイヴェ・アーマディアン氏が、イランの首都テヘランを例に、大都市における照明デザインのあり方を紹介しました。スーリ氏は、都市の景観とは、単に物理的に発展したビルやインフラではなく、都市が象徴する非物理的なものを伝える媒体だと言います。その意味で、人と建築が展示された無償の「ギャラリー」もしくは「劇場」のようなものであり、その魅力次第では投資や観光客を引きつける資源となり、結果として都市の経済を潤し、世界的地位を高めると考えます。アーマディアン氏は、照明デザインにより都市の夜景を魅力的にする上で、1,400万人近い人口を誇るテヘランのような大都市の照明計画では、「マクロレベル」だけで考えるのではなく、都市を分割し、各ゾーンおよび専門分野ごとに照明に対するアプローチを検討することが重要だと考えています。

EL14

～人にやさしい照明空間を求めて～



原 利明氏(鹿島建設 環境・性能グループ チーフ)
松下 美紀氏(松下美紀照明設計事務所 代表取締役)
Moderator: 福多 佳子氏(中島龍興照明デザイン研究所 取締役)

混んでいる駅で、私たちは本当に階段を視覚情報だけで認知しているのか？階段を昇降する足音をその手がかりにしているかもしれない。つまり、視覚以外の聴覚や触覚などの人間の五感を使って空間の情報を得ることができる。これがまさに人にやさしい空間づくりのエッセンスになると原氏は言います。このエッセンスが凝縮されているのが、松下氏が携わった福岡市営地下鉄七隈線。「人にやさしい地下鉄を目指して」ということで、トータルデザインをすることから始めたと松下氏は言います。照明はできるだけ天井を高くし、狭陰感をなくすために間接照明を設け、ホームドア前の色温度を変えてコントラストをつけることで、弱視者の方にとってのわかりやすさを求めています。駅での「見やすさ」、「移動のしやすさ」、「わかりやすさ」をテーマに、様々な方の目線で、動線、券売機やサインの色・大きさを検討していきました。

EL15

公共交通機関の照明



クリストフ・ジゼル氏(アラップ ニューヨーク事務所 シニアデザイナー)
ケビン・ウーマック氏(アラップ ニューヨーク事務所 シニアデザイナー)

世界的に有名なエンジニアリングファーム、アラップニューヨーク事務所のシニアデザイナー、クリストフ・ジゼル氏とケビン・ウーマック氏により、公共交通機関における照明デザインの重要性が語られました。中でも、電車の駅は街の中心部に位置しているため、都市で働く人や住む人にとって身近で、インパクトの大きいものだと思います。最近では駅直結型の商業施設での売り上げが、路面店の売り上げを10期連続で上回っていることから、公共交通機関における照明デザインの重要性が増してきています。また、地下鉄や電車などの公共交通機関のプロジェクトにおいて両氏が重要視しているのは、利用者に照明デザインという手段でJoy（喜び）をもたらすこと。特に終着駅での喜びの体験は、通勤中のつまらない体験を無しにして、気持ちをリフレッシュし良い一日の始まりを可能にしてくれると言います。

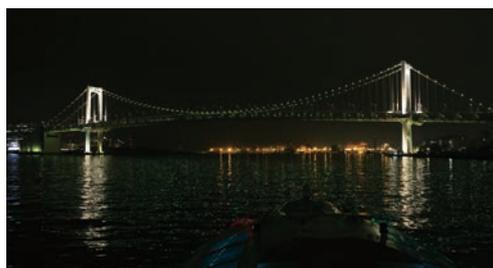
2-5 Enlighten Asia in Japan 2019
TOKYO Nightscape Tour
『照明デザイナーとともに
東京の夜景を巡る』



展示会場を飛び出して、オープンロフの2階建てバスと松本零士氏プロデュースの水上バス「エメラルダス」で、照明デザイナーとともに東京の夜景を巡るナイトツアーが行われました。

17時に有明の東京ビッグサイトをバスで出発し、銀座や日本橋、丸の内の夜景スポットを巡りながら、新旧様々な建物が織りなす光の景観を照明デザイナーが解説。東京駅ではバスを下車し、面出薫氏と岩井達弥氏による説明に耳を傾けながら、ライトアップを楽しみました。そして一行は日の出桟橋へと向かい、水上バス「エメラルダス」に乗船。そこで、松本零士氏の漫画に登場するキャラクターに扮したIALD Japanのメンバーが出迎えるというサプライズがありました。出発後はbuffetスタイルの食事をとりながら、船上から見えるレインボーブリッジや大川端リバーシティなどの夜景を満喫しました。

日時 2019年3月6日 18:45~21:30



EL16

地方創生とあかり
～専門家起用ケーススタディ～



木村 隼斗氏
(長門市 長門湯本温泉観光まちづくり推進会議委員、経済産業省 商務情報政策局 課長補佐)
Moderator : 長町 志穂氏 (LEM空間工房 代表取締役)

「地方創生・まちづくり」において、プロジェクトを実践する上での司令塔人材や各種専門家の起用は重要です。大規模な都市改修と景観ガイドラインづくり・使いこなしの社会実験や組織化の実践が進む「長門湯本温泉」を一つのケーススタディとして取り上げ、その役割・プロセス・運営などの手法について、行政の立場から木村隼斗氏が解説しながら、ソフトとハードの両面での「あかりの役割」を長町志穂氏と考察しました。官民で社会実験や事業を進めていく上ですごく大事だと実感したのが、一体感、共感をつくること。地元有志の手作りイベント「Thanks ONTO」で多くの共感を生んだのは、長町氏の協力のもと、恩湯を一番かっこいい形で送り出そうと実施したライトアップ。あかりで照らすことで新しい価値、こんなにいいものだったんだと実感できる、照明のすごさを感じたと木村氏は言います。

EL17

光の表現—
照明デザイナーが芸術から学べること



ポーラ・ロンガト氏 (アラブベルリン シニアライティングデザイナー)
ヨヘン・ロッヒャー氏 (weißpunkt und purpur, Berlin / Germany
シニアライティングデザイナー)

西洋の絵画における光の表現を分析することで、「光」はどのように表現されるのか。ポーラ・ロンガト氏は、照明デザイナーは日々照明を取り扱っているにも関わらず、「光の表現」という抽象的なトピックに関してあまり考えたことがないのではないかと問題提起しました。これに対し、ヨヘン・ロッヒャー氏は、ヨーロッパにおける光の理論に関して、歴史的にも黄色が最も光に近い色として捉えられてきたのではないかと考えます。また、ロンガト氏は、これらの理論がゴッホなどの絵にどのように適用されるかを検証し、光に関する情報が多ければ多いほど、より具体的に光の仕様を理解することができますと言います。照明デザイナーが日々の業務においてデザインを伝達する際に、プロジェクトのフェーズや、相手先ごとに情報の質と量や仕様の精度を調整する上で、とても参考になるのではないかと両氏は考えています。

EL18

LIGHT+IMAGE+CITY SCAPE
= EXPERIENCE



齋藤 精一氏 (ライゾマティクス 代表取締役)
Moderator : 目黒 朋美氏 (トモデザイン・メグロ 代表取締役)

様々な技術や手法を用いた多種多様なアートインスタレーションなどで知られている齋藤精一氏が、これまでの事例を紹介しつつ、いま自身が思う光の可能性について語りました。作品としては、プロジェクションマッピングを使ったアイドルグループのステージ演出などがよく知られていますが、最近では、政府やディベロッパーとの交渉が絡む都市のプロジェクトにも力を入れています。その試みの一例が、新宿御苑で行われたGyoen Night Art Walkで、通常は開いていない夜間の新宿御苑で、1時間30分におよぶレーザーやムービングライト・LED照明など様々な照明を使ったインスタレーションを体験展示し、都市における夜の新たな体験の形を提案しました。今、人は、体験(Experience)に飢えている。光、イメージ、都市を使って体験をデザインすること。それが齋藤氏とライゾマティクスの今の活動の目的となっています。

2-5 Enlighten Asia in Japan 2019
フェアウェルパーティー

Enlighten Asia in Japan 2019の2日目のプログラムが終了した後、会場を墨田区の東京スカイツリータウン・ソラマチの「すみだ水族館」に移して、海外からのIALDメンバーを交えたフェアウェルパーティーを行いました。弦楽器の生演奏によるウェルカムミュージックでゲストをお迎えし、面出薫氏による開会の挨拶と、岩井達弥氏の乾杯で開宴。夜の水族館という幻想的な光と水の世界で、食事や各国のメンバーとの歓談、ペンギンショーを楽しみました。

パーティーの終盤にはIALD本部プレジデントの挨拶や、Education Trustの奨学生としてEnlighten Asia in Japanに招待された学生会員の紹介がありました。近田玲子氏の閉会の挨拶の後、普段はなかなか会う機会の少ないIALDメンバー全員で集合写真を撮影。楽しいひと時を過ごせたようで、参加者の顔には笑みがこぼれていました。



日時 2019年3月7日 19:00～21:00
会場 すみだ水族館



CHAPTER

03

組織運営

3-1	委員会の概要と設置の目的	22
3-2	IALD Japan メンバーリスト	23
3-3	IALD Japan News	26
3-4	About IALD Japan	27
3-5	世界のIALDメンバー	28
3-6	入会案内	30
3-7	第6期に向けて	31
3-8	協賛企業	32

3-1 委員会の概要と 設置の目的

協会の事業運営は理事会+事務局と5種類の委員会によって構成されています。理事会は14名の理事と2名の監事で構成され、協会運営の方針と事業を決定します。運営では事務局2名と本部から任命されるリージョナルコーディネーター1名が会員をサポートしています。

5つの委員会はそれぞれに理事と会員有志によって組織され、年間の活動計画に基づいて協会内外での積極的な活動を行います。

委員会の幹事はそれぞれの委員会によって適時に選出され、その運営に当たります。

運営委員会

協会の運営やマネジメント及び財務全般を管轄します。協会の主な活動資源である協賛金の運用を計画的に行い、協会の経済的な活動基盤を万全のものとしします。

理事会

総会で選出された14名の理事と2名の監事によって構成されています。代表理事と副代表理事、専務理事による執行役員会と連携し協会の運営を主導しています。

Enlighten委員会

2013年より始まった2年に一度のEnlighten Asia in JapanとLIGHTING FAIRのイベントを企画運営しています。日本照明工業会と日本経済新聞社との協力的体制で進めます。

総会

協会運営の総意をはかるための最高決議機関です。事業計画や決算内容を承認し、活動方針に対する会員の総意をはかる定時総会と、研修会や会員相互の親睦を目的とした臨時総会とを運営しています。

事務局

会員へのサポート、関連団体との連携、IALD本部(米国シカゴ)との連絡業務、理事会や委員会活動への協力など、健全な協会運営に関する様々な業務を行います。

研修委員会

外部向けと会員向けの2種類の研修プログラムを実施し、会員の意識と能力の向上を図ります。また学生向けの教育プログラムを実施し、未来の照明デザイナーを育てます。

広報委員会

協会の広報活動として最も重要なWebサイトを積極的に企画運営しています。更に年間の協会活動を関係各位に報告するためのアニュアルレポートの企画編集を行います。

メンバーシップ 委員会

協会の新規会員募集のために広報資料を作成し会員の拡大を図ります。更に会員相互の親睦を深めるための活動を行い、協会活動への積極的な参加を促します。

リージョナル コーディネーター

IALD本部から指名され日本と本部の協会活動の橋渡しをしています。本部会議に出席し相互理解を深め世界の協会運営を俯瞰します。

理事会

代表理事	面出 薫
副代表理事	近田 玲子
副代表理事	岩井 達弥
専務理事	東海林 弘靖
理事	稲葉 裕 金田 篤士 小西 美穂 澤田 隆一 武石 正宣 内木 宏志 永島 和弘 長町 志穂 松下 美紀 山下 裕子
監事	富田 泰行 松本 浩作

スタッフ

事務局	瀧 ゆう子 清水 安芸
リージョナルコーディネーター	東 悟子

3-2 IALD Japan メンバーリスト

[50音順]

F フェロー会員
P プロフェッショナル会員

A アソシエイト会員
AF アフィリエイト(賛助)会員

E エデュケーター会員
S 学生会員

A	青木 千春	株式会社 仁設計	https://www.jindesign.co.jp
A	飯塚 千恵里	飯塚千恵里照明設計事務所	
A	池田 俊一	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
F	石井 幹子	株式会社 石井幹子デザイン事務所	http://www.motoko-ishii.co.jp
P	石田 聖次	LIGHTSCENE	http://www.lightscene.jp
A	板倉 厚	Lighting Planners Associates (HK) Ltd.	http://www.lighting.co.jp
A	伊藤 達男	有限会社 伊藤達男照明デザイン研究所	http://itoolight.on.coocon.jp
A	稲葉 裕	株式会社 フォーライツ	
P	岩井 達弥	岩井達弥光景デザイン	http://www.lumimedia.jp
A	上田 夏子	Nipek	http://www.nipek.jp
A	内野 春佳		
A	内原 智史	有限会社 内原智史デザイン事務所	http://www.uclid.co.jp
A	遠藤 香織	Kaori Endo Lighting Design	https://www.kaoriend.com
A	大津 敏秀	有限会社 大津電設	
A	大好 真人	LIGHTDESIGN INC.	https://www.lightdesign.jp
A	岡本 賢	Ripple design	https://ripple-design.jp
A	岡安 泉	株式会社 岡安泉照明設計事務所	https://www.ismidesign.com
P	小野田 行雄	有限会社 イリス・アソシエーツ	http://iris-a.com
A	加賀美 鋭	株式会社 GK設計	http://www.gk-design.co.jp/sekkei
A	角館 政英	ぼんぼり光環境計画株式会社	http://www.bonbori.com
A	角田 尚法	maxview一級建築士事務所	http://www.max-view.jp
P	金田 篤士	株式会社 ワークテクト	http://www.worktecht.co.jp
A	上村 悠	有限会社 レイデザイン	http://www.raydesign.jp
P	川端 章彦	dpa lighting consultants Japan LLP	http://www.dpalighting.com
A	久保 隆文	株式会社 Mantle	http://mantle-d.com
A	窪田 麻里	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A	黒瀬 俊英	株式会社 ワークテクト	http://www.worktecht.co.jp
A	黒田 茜	LIGHTDESIGN INC.	https://www.lightdesign.jp
A	黄 思濛	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
P	小西 武志	ALG (建築照明計画株式会社)	http://alg.jp

3-2 IALD Japan メンバーリスト [50音順]

A	小西 美穂	ALG (建築照明計画株式会社)	http://alg.jp
A	小山 憲太郎	コヤマケンタロウデザイン事務所	http://koyamadesign.jp
P	澤田 隆一	有限会社 サワダライティングデザイン&アナリシス	http://slda.co.jp
P	東海林 弘靖	LIGHTDESIGN INC.	https://www.lightdesign.jp
AF	水馬 弘策	D.C.Works	
A	菅原 千稲	フィラメント	http://filament.main.jp
A	瀬川 佐知子	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A	高山 直樹	株式会社 松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
P	武石 正宣	ICE都市環境照明研究所	http://www.ice-pick.jp
A	田中 圭吾	株式会社 ライトモーメント	http://lightmoment.jp
A	田中 謙太郎	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A	田中 康一	LIGHTLINKS INTERNATIONAL LIMITED	http://www.lightlinksltd.com
A	田中 裕美子	ゾネ	
A	垂水 茂喜	有限会社 レイデザイン	http://www.raydesign.jp
F	近田 玲子	株式会社 近田玲子デザイン事務所	http://www.chikada-design.com
A	東宮 洋美	株式会社 ライトスケープ・デザイン・オフィス	http://www.ido.co.jp
A	戸恒 浩人	シリウスライティングオフィス	http://www.sirius-ltg.com
A	富田 泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス	http://www.tldo.jp
P	内木 宏志	株式会社 ナイキデザイン事務所	http://naikidesign.com
AF	中島 一秋	ライティングラボラトリー	http://lightinglaboratory.co.jp
A	中島 龍興	中島龍興照明デザイン研究所	http://www.ne.jp/asahi/nakajima/lighting
A	中谷 太郎	*CYPHER	http://www.cypher-d.com
A	永島 和弘	合同会社 チップス	http://www.chipsss.com
A	永田 恵美子		
A	永津 努	株式会社 フェノメノンライティングデザインオフィス	http://phenon.jp
A	長町 志穂	LEM空間工房	http://www.lem-design.com
A	中村 美寿々	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A	中村 元彦	株式会社 松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
A	野澤 寿江	株式会社 近田玲子デザイン事務所	http://www.chikada-design.com
A	橋本 八栄子	MYNA Design & Craft Pte Ltd	https://www.myna.com.sg
E	馬場 美次	馬場美次デザイン室	http://www.yoshiji.com

F フェロー会員 A アソシエイト会員 E エデュケーター会員
P プロフェッショナル会員 AF アフィリエイト(賛助)会員 S 学生会員

A 早川 亜紀	灯デザイン	http://www.toh-design.com
A 原田 武敏	焰光景デザイン	http://www.homura-lsd.com
AF 東 悟子	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 福多 佳子	中島龍興照明デザイン研究所	http://www.ne.jp/asahi/nakajima/lighting
A 藤井 茂紀	Nipek	http://www.nipek.jp
A 藤井 美沙		
AF 細井 のぞみ	株式会社 ハーフエレジャパン	
A 本多 由実	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 真壁 智香	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 眞崎 雅子	有限会社 スタイルマテック	http://www.style-matec.co.jp
P 松下 美紀	株式会社 松下美紀照明設計事務所	http://www.mikilight.com
A 松本 浩作	有限会社 スタイルマテック	http://www.style-matec.co.jp
A 馬渡 秀公	マワタリデザイン	
A 村岡 治彦	村岡治彦デザイン事務所	http://www.muraokadesign.com
A 村岡 桃子	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 村角 リーダー千亜希	スパンコール	http://www.spangle.jp
A 目黒 朋美	トモルデザイン・メグロ株式会社	http://www.tomoru-design.co.jp
F 面出 薫	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
P 森 秀人	株式会社 ライティングM	http://www.lighting-m.co.jp
A 八木 弘樹	有限会社 内原智史デザイン事務所	http://www.uclid.co.jp
A 安田 真弓		
A 矢野 基世		
A 山下 裕子	有限会社 ワイ・ツー・ライティングデザイン	
A 山本 幹根	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 彌吉 泉美	株式会社 彌吉泉美照明デザイン	http://www.izu-lighting.com
E 吉澤 望	東京理科大学 理工学部 建築学科教授	
A 吉野 弘恵	アカリ・アンド・デザイン	http://www.akari-d.com
A 吉村 美子	LIM LIGHTING DESIGN	
A 林 虎	株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ	http://www.lighting.co.jp
A 綿貫 真由美	有限会社 内原智史デザイン事務所	http://www.uclid.co.jp
S 学生会員 5名		

3-3 IALD Japan News

学生会員募集のお知らせ

IALD Japanでは学生の方々に照明デザインの世界を知っていただくため、学生会員というメンバーシップがあります。

今回のEnlighten AsiaからIALD Japanでも「旅費資金プログラム」の支援を始め、日本各地から7名の大学生が参加し、そのあと彼らはIALDの学生会員となりました。今期から学生会員も徐々に増えはじめています。

今後も照明デザインに関心を抱く学生がIALD Japanへの会員加入を含めて照明デザイナーへの道が開けるようにサポートを行っていきます。

IALD Education Trust

「IALD Education Trust」は照明デザイナーの育成とそれをサポートする目的で1998年に設立されました。この21年間で「旅費資金プログラム」は16ヶ国82の学校における学生335人、それを指導する教育者37名にEnlightenや教育セミナー参加のための旅費支援を行っています。また「奨学金プログラム」では3ヶ国30の学校で103人が奨学金を受けています。

webサイト
リニューアルのお知らせ

2018年12月末にIALD Japanのwebサイトをリニューアル致しました。

今回のリニューアルでは、当協会の活動報告やイベントレポートが掲載された「Activity」や、魅力的な特集記事が見られる「Feature」など、新たなコンテンツを用意しています。

また、パソコンの他にスマートフォンやタブレットからアクセスした際にも、より使いやすく快適にご利用いただけるwebサイトとなっています。

引き続き、皆様に使いやすいwebサイトを目指して、内容を充実させて参りますので、宜しくお願い致します。

<https://ialdjapan.jp>

LINE開設の
お知らせ

会員との連絡を円滑に進めるための試みとして、LINEアカウントを新設しました。

「IALD Japan」、または事務局電話番号(0362771764)で検索ください。

今後はこちらからも様々なお知らせを発信する予定ですので、ご興味のある方は是非ご登録をお願い致します。

3-4 About IALD Japan

IALD リージョナル
コーディネーター

IALDでは本部のある米国シカゴを中心に10のリージョン(地区)と17のチャプター(支部)があり、それぞれのコーディネーターが、地域の活動が活発に行われるよう取り組んでいます。現在、アジアでは、日本、中国、東南アジア、インドをそれぞれ1名のコーディネーターが担当しています。特に日本は米国について最大の会員数を有し、現地法人化されたこともあり、その役割を期待されているところです。日本のリージョナルコーディネーターは、ボランティアという立場で、日本における会員活動のサポート、シカゴ本部への活動報告、本部からの情報を日本の会員へ伝えるなどの役割を担い、日本での活動が円滑に進むようIALD Japan事務局と連携を取りながら活動しています。

IALD Japan
事務局

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会(IALD Japan)事務局は東京五反田の東京デザインセンターに移転され新しい環境でスタートしました。現在担当スタッフが、IALD Japanリージョン、リージョナルコーディネーターと連携しながらIALD Japanの事務業務を務めています。協会の目的である業界の発展に寄与するための活動サポート拠点として以下の業務を行っています。

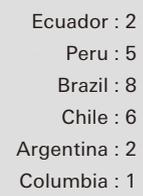
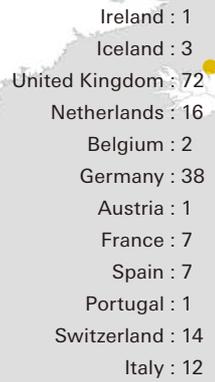
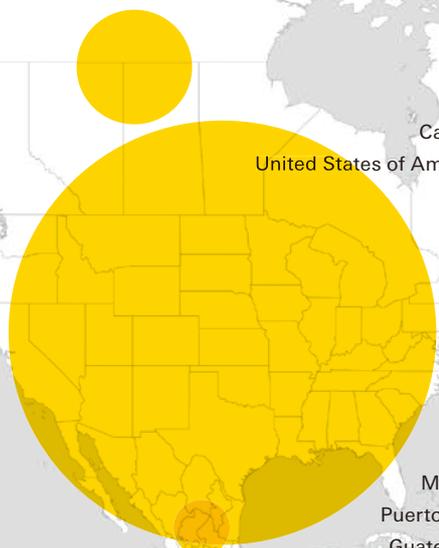
-
1. 国際照明デザイナーズ協会(IALD)本部とのやりとり
 2. 会員サポート
 3. イベント開催に関する取りまとめや諸手続き
 4. その他当協会運営に関するさまざまな業務

会員および外部の方からのお問合せはこちらで承っていますので、各種資料、会員登録、イベント、その他本協会に関するご質問はメール、電話にてお気軽にお問合せください。

業務時間：10：00～17：00（月～金）土日祝日は休み

会員の皆様にはミーティングやコミュニケーションの場として開放しておりますのでお気軽にお立ち寄りください。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター5階 crafTec内
tel: 03-6277-1764 fax: 03-6277-1769
E-mail: info@iald-japan.jp https://iald-japan.jp

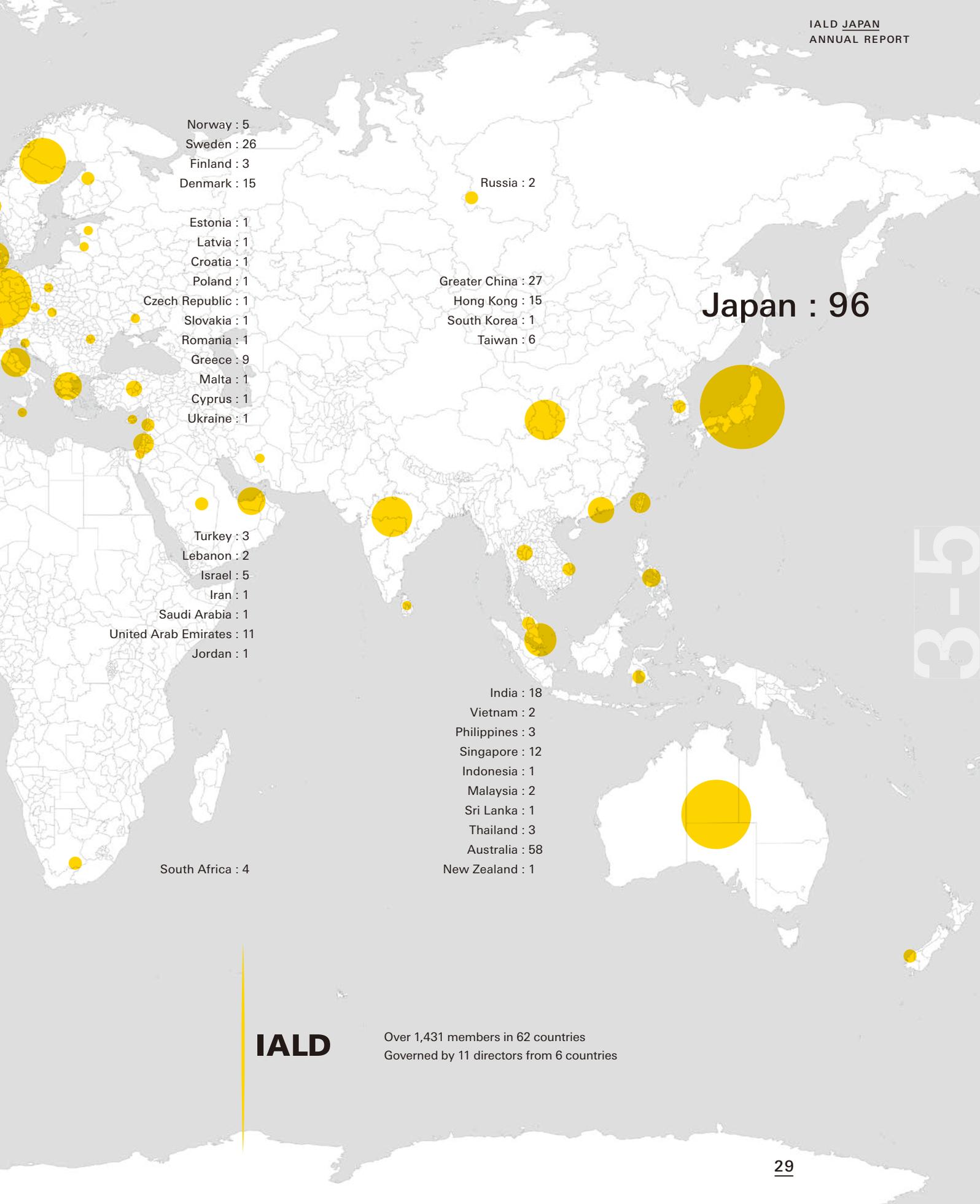


3-5 世界のIALDメンバー

世界で活動するIALDのメンバーをご紹介します。各国の活動は「ENLIGHTEN AMERICAS」「ENLIGHTEN EUROPE」「ENLIGHTEN ASIA」のセミナーやさまざまなセッションによって情報交換が行われています。

日本は一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会の躍進によって、世界で2番目の活動国となりました。

※2019年 6月末日現在（日本のみ2019年 8月末日現在）



3-5

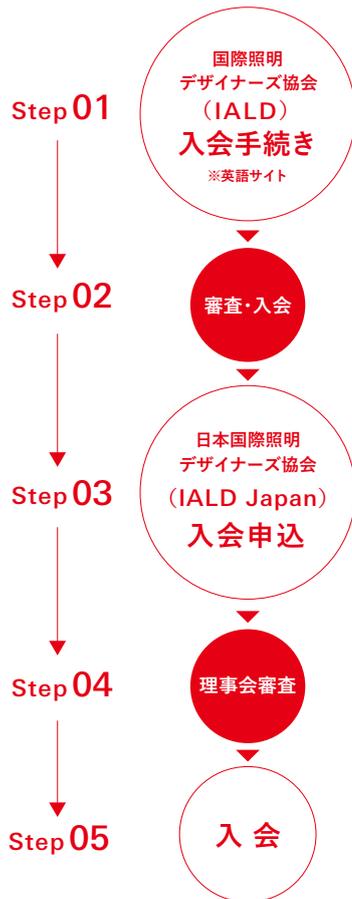
IALD

Over 1,431 members in 62 countries
Governed by 11 directors from 6 countries

3-6 入会案内

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会では、新規の会員を随時募集しています。

入会までの手順



入会特典

入会された会員には、以下のような特典があります。

- ・ 国際的な展示会への参加
- ・ 協会が主催するシンポジウムやセミナー等への参加資格
- ・ 照明デザインに関するさまざまな情報の共有

会員種別

会員には以下の種別があります。

- ・ フェロー会員
- ・ プロフェッショナル会員・アフィリエイト(賛助)会員
- ・ アソシエイト会員 ・ ジュニアアソシエイト会員
- ・ 退職会員 ・ エducーター会員
- ・ 名誉会員 ・ 学生会員

会員資格

会員資格を得るには、米国の国際照明デザイナーズ協会(IALD)に事前に加入する必要があります。

- ・ 入会時に国際照明デザイナーズ協会(IALD)の会員資格を有していること
- ・ 日本国籍を有する個人、または日本に在住する個人であること

詳しい手続きにつきましては、一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 事務局までお問い合わせください。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター 5階 crafTec内
tel: 03-6277-1764 fax: 03-6277-1769
E-mail: info@ialdjapan.jp https://ialdjapan.jp

3-7 第6期に向けて

前期では、毎月展開される「コミュニケーションバー InaBar」と、年2回のTDC crafTecギャラリー スペースを最大限に活用した「照明トレンド オンステージ」の二つの新しい活動が始まりました。一線で活躍する照明デザイナーの本音を聞いたり、照明器具を作る側と照明デザイナーの真剣な意見の交換を通して目指すべき照明器具の方向性を知ることが出来るようになりました。

第6期の活動目標の第一では、IALD Japan会員のための新しいEnlighten Asia in Japanのあり方を検討します。2021年秋の開催を想定し、海外の著名な照明デザイナーを交え、デザイナー同士が世界の照明デザインについて真剣に討議する場にします。活動目標の第二は、建築や照明業界の方々にとどまらず、多くの人々に照明デザインの魅力を伝える活動として、2回目となる大阪での照明イベント開催を計画します。活動目標の第三は、照明デザイナーを目指す学生や若い人々への教育活動として、IALD JapanのEducation Trustを使つての積極的な支援を行います。また、協会と会員の活動を広く知ってもらうためのwebサイトを充実させます。

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会

副代表理事 近田 玲子 Reiko Chikada

第6期 活動計画案

2019年

第1回 理事会

定時総会

第4回 照明トレンド オンステージ

2020年

第2～4回 理事会

第1～2回 臨時総会

第5回 照明トレンド オンステージ

学生向けセミナー

3-8 協賛企業

Diamond

ウシオエンターテインメントホールディングス 株式会社
株式会社 遠藤照明
コイズミ照明 株式会社
大光電機 株式会社
パナソニック 株式会社 ライフソリューションズ社
株式会社 モデュレックス



Platinum

岩崎電気 株式会社
株式会社 KKDC-JAPAN
DNライティング 株式会社
株式会社 ルーチ



Gold

トキ・コーポレーション 株式会社
株式会社 ネオ・ストラクト
三菱電機照明 株式会社
ルートロンアスカ 株式会社
株式会社 ルーメンジャパン



Silver

エイテックス 株式会社
SD Lighting 株式会社
カラーキネティクス・ジャパン 株式会社
KOYA JAPAN Lighting 株式会社
株式会社 電産企画
東芝ライテック 株式会社
トライト 株式会社
ナカ工業 株式会社
株式会社 ハーフエレジャパン
株式会社 FEELUX JAPAN
マーチンプロフェッショナルジャパン 株式会社
株式会社 森川製作所
株式会社 YAMAGIWA
山田照明 株式会社
株式会社 ライティング創
ライトアンドリヒト 株式会社
株式会社 LIXIL
株式会社 Linea Light
ルイスポールセンジャパン 株式会社



[50音順]



Japan International
Association of
Lighting Designers

2019

IALD JAPAN

ANNUAL REPORT

Vol.05

一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
アニュアルレポート
第5期 [2018年9月 — 2019年8月]

[発行日]	2019年11月19日
[企画・監修・発行]	一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会
[編集]	IALD Japan 広報委員会
[編集協力・デザイン]	株式会社 大伸社ディライト
[印刷・製本]	株式会社 ライブアートボックス
[発行・発行所]	一般社団法人 日本国際照明デザイナーズ協会 〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター5階 crafTec内 tel:03-6277-1764 fax:03-6277-1769 E-mail: info@ialdjapan.jp https://ialdjapan.jp

